

平成 29 年日本熱物性学会第 1 回 (2017-1) 役員会議事録  
平成 28 年第 4 回(2016-4)役員会との合同会議

日時：平成 29 年 1 月 21 日(土) 役員会 13：58～15：53

場所：東京工業大学田町キャンパス キャンパスイノベーションセンター5F 501 室

出席者：(五十音順・敬称略)

浅岡龍徳(信州大学)	遠藤亮(東レリサーチセンター)
大久保英敏(玉川大学)	小川光恵(ファインセラミックスセンター)
小口幸成(鷗友学園)	小澤俊平(千葉工業大学)
小原拓(東北大学)	小畑良洋(鳥取大学)
桑原正史(産総研)	小宮敦樹(東北大学)
坂下弘人(北海道大学)	庄司衛太(東北大学)
杉岡健一(富山県立大学)	杉山久仁子(横浜国立大学)
高田保之(九州大学)	高野孝義(豊田工業大学)
手嶋康介(京都電子工業)	長坂雄次(慶應義塾大学)
春木直人(岡山大学)	日野裕久(パナソニック)
麓耕二(弘前大学)	古川良知(京都電子工業)
堀部明彦(岡山大)	牧野俊郎(近畿職業能力開発大学校)
松島栄次(大阪工業大学)	宮崎康次(九州工業大学)
室町実大(産総研)	桃木悟(長崎大学)
森川淳子(東京工業大学)	山下雄一郎(産総研)
山田盛二(サンタバーキングラボラトリー)	山田修史(産総研)
山田純(芝浦工業大学)	山田雅彦(北海道大学)

審議事項：

高田前会長より挨拶があり、引き続き山田純新会長より挨拶があった。配布資料の確認が行われた。

議 題：

(1)新旧役員紹介(役員一覧)と前回議事録確認……………資料番号:17-1-1(1)~(3)

資料 17-1-1(1)および(2)に基づき新旧役員の紹介があった。誤植等は事務局に連絡することとなった。続いて、小原前事務局担当副会長および森川新事務局担当副会長より挨拶があった。次に小宮評議員より、資料 17-1-1(3)に基づき、前回議事録の確認があり、一部修正の後、了承された。

(2)学生ベストプレゼンテーション賞選考結果報告……………資料番号:17-1-2

桃木企画担当理事より、第 37 回シンポジウムにおける第 14 回学生ベストプレゼンテーション賞についての選考結果の報告があった。審査の結果、23 名から 5 名が選ばれた旨が報告された。採点者による得点の差異は小さくなってきており、どの発表もレベルが高くなってきているとの報告があった。今後も研究内容に重点を置いた評価を継続する方向で進める旨の報告があった。会誌の報告原稿については、

誤植を修正することとなった。

**(3)第 37 回日本熱物性シンポジウム報告……………資料番号:17-1-3**

堀部第 37 回シンポジウム担当より、シンポジウムの報告がなされた。ATPC2016 の開催により参加者の減少が危惧されたが、110 件の発表、227 名の参加があった旨が報告された。会場について、複数の階での開催となった点が気になったが、問題なく開催できたとのこと。シンポジウムの収支決算報告（暫定版）も併せて報告があった。

**(4)ATPC2016 報告……………資料番号:17-1-4**

長坂 ATPC 実行委員長より、ATPC2016 の報告がなされた。28 カ国 415 名の参加があった旨が報告された。これまでの ATPC の中で最も多い参加者数となった。会誌「熱物性」に掲載された報告書を基に基調講演、一般講演、受賞、懇親会等の詳細について報告があった。Special Issue については International Journal of Thermophysics の Guest Editor を堀部先生に依頼し、現在編集中であるとのこと。その他の雑誌についても進行中であるとの報告があった。収支決算報告（暫定版）も併せて報告があった。余剰金については熱物性学会に寄付し、余剰金等で管理する方向で進めているとのこと。

**(5)覚書の確認……………資料番号:16-1-5**

小原前事務局担当副会長より、学会運営に関する覚書の紹介があった。第 37 回シンポジウムの情報が追加された旨が報告された。併せて論文集価格の削除・追加・変更情報もあった。NPO 法人による会費徴収の件に係る覚書部分については、NPO 法人側の具体的な業務が定まっていないこともあり、ここ 1 年をかけて修正していくこととなった。山田純新会長より、評議員の皆様にはぜひご一読いただきたいとの依頼があった。

**(6)平成 28 年活動・決算報告……………資料番号:17-1-6(1)~(2)**

小原前事務局担当副会長より、資料 17-1-6(1)に基づき、学会の第 37 期(平成 28 年)の活動報告に関する報告があり、一部誤植を修正することとなった。続いて資料 17-1-6(2)に基づき、収支決算の説明がなされた。論文集別刷代、第 37 回シンポジウムおよび ATPC2016 から大きな収入・寄付金があった旨、著作権使用料の予定以上の収入があった旨の報告があった。その後、山田雅彦監事より監査報告があった。

**(7)平成 29 年事業計画……………資料番号:17-1-7**

森川事務局担当副会長より、資料 17-1-7 に基づき、学会の第 38 期(平成 29 年)事業計画案の説明があった。役員会日程および活動計画などについての説明があり、了承された。4 月 22 日の理事会・役員会については、東京工業大学大岡山キャンパスで開催することとした。研究分科会については、第 38 期は継続で 4 研究会が活動していくこととなった。また、各種委員会の担当についても確認された。

**(8)平成 29 年予算案……………資料番号:17-1-8**

森川事務局担当副会長より、資料 17-1-8 に基づき、第 38 期(平成 29 年)の収支予算に関する報告があった。第 37 期は ATPC2016 開催により例年とは異なった増減が生じたが、第 38 期ではこの増減を考慮し

ての例年通りの予算となった旨の説明があった。支出における事務・会議費の会計業務委託費および会計業務庶務費の例年との違いは、会費徴収の業務委託先変更によるものである旨の説明があった。また、広報委員会の予算を 50,000 円から 100,000 円に変更する説明があり、これを了承した。

#### (9) 第 38 回・第 39 回日本熱物性シンポジウム準備状況……………資料番号:17-1-9(1)~(2)

山田熱物性情報担当理事より、資料 17-1-9(1)に基づいて、第 38 回シンポジウムの準備状況についての報告があった。会期・会場・期日設定はこれまでのアナウンス通りであり、第 2 回目の実行委員会を行った旨の報告があった。懇親会はつくば駅近隣の施設で開催する予定とのこと。特別講演会 2 件に関しては、産総研関係者も聴講可能で進めているとのこと。

続いて、代理として山田純会長より、資料 17-1-9(2)に基づき、第 39 回シンポジウムの準備状況が報告された。実行委員長は、長野方星先生（名古屋大院）にご承諾頂いた。開催場所は名古屋市とし、準備状況の説明がなされた。実行委員は主として東海地区のメンバーで構成していく旨の報告があった。会場は現時点で 3 候補挙がっており、予算等を考慮しつつ決定していくこととなった。

#### (10) 各種委員会報告……………資料番号:17-1-10-1~5

時間の関係上、役員会での報告となった。

##### 編集委員会

大久保編集担当理事より、資料 17-1-10-1(1)に基づいて、平成 28 年度活動報告および会計報告があった。会誌「熱物性」を 4 号発行したとの報告があった。また、第 38 期(平成 29 年)の活動計画に関する説明があった。

また、資料 17-1-10-1(2)に基づいて、2017 年 2 月発行予定の Vol.31 No.1（通巻 114 号）の内容についての報告があった。

##### 熱物性値サービス委員会

山田熱物性情報担当理事より、資料 17-1-10-2 に基づいて平成 28 年度活動報告と平成 29 年度活動計画の説明があった。平成 28 年度は月平均約 6150 件のアクセスがあり、論文ダウンロード数は 936 報との報告があった。平成 29 年度の活動として、データベースサービスの強化について検討していくこととなった。

##### 活動委員会

桃木企画担当理事より、資料 17-1-10-3 に基づいて平成 28 年度活動報告と平成 29 年度活動計画の説明があった。熱物性シンポジウムおよび ATPC2016 のベストプレゼンテーション賞関連業務の報告がなされた。

##### 広報委員会

宮崎広報担当理事より、資料 17-1-10-4 に基づいて、平成 28 年度活動報告と平成 29 年度活動計画の説明があった。平成 28 年度はこれまでの活動に加えて 9 月に講習会を開催した旨の報告があった。HP の運営にある程度の予算がかかることから、予算を多めに計上していくことになった。9 月に開催された講習会の講演ビデオに関して、使用方法を今後検討していくこととなった。

また、会員から依頼のあった学会誌のバックナンバー記事の HP 上での公開について、検討を進めていくこととなった。

表彰委員会

長坂表彰委員会委員長より、資料 17-1-10-5 に基づいて、平成 28 年度活動報告と平成 29 年度活動計画の説明があった。続いて、学会誌 2 月号掲載予定の「2017 年日本熱物性学会賞の候補の募集」記事案が出された

**(11)研究分科会について……………資料番号:17-1-11-1~5**

高温融体物性と材料プロセス

代理として小澤評議員より、資料 17-1-11-1 に基づいて、平成 28 年度活動報告および決算報告と平成 29 年度活動計画の説明があった。

先進材料の熱物性と宇宙システムデザイン

代理として山田純会長より、資料 17-1-11-2 に基づいて、平成 28 年度活動報告および決算報告と平成 29 年度活動計画の説明があった。

ふく射性質とその放射制御に関する研究会

代理として宮崎広報担当理事より、資料 17-1-11-3 に基づいて、平成 28 年度活動報告および決算報告と平成 29 年度活動計画の説明があった。

断熱材の熱物性計測と評価

代理として小宮評議員より、資料 17-1-11-4 に基づいて、平成 28 年度活動報告および決算報告と平成 29 年度活動計画の説明があった。

**(12)事務局報告……………資料番号:17-1-12-1~2**

小原前事務局担当副会長より、資料 17-1-12-1 に基づいて共催、協賛行事の報告があり、続いて、資料 17-1-12-2 に基づいて会員異動の報告があった。

**(13)その他**

特になし。

以上